

広報

# なぎじん

No. 121

1985年12月

村章

(毎月1日発行)



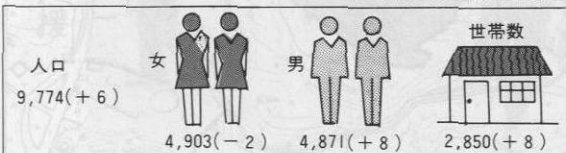
### ▲仲尾次の石切場跡

石柱は、今でも、たまたまみられる。一打一打ノミで丹念に削り、金ゴテとクサビで1本1本掘り取ったのだと老人は話してくれた。

石は、砂岩で均質なものをえらんだのだろう昔今帰仁の生活の跡が残っている。

今帰仁村の人口

昭和60年10月31日現在



- |              |            |               |                 |                |                |              |              |             |
|--------------|------------|---------------|-----------------|----------------|----------------|--------------|--------------|-------------|
| 十一           | 十九         | 八             | 七               | 六              | 五              | 四            | 三            | 二           |
| 今帰仁の碑文展      | 拓本にみる歴史と文化 | 県婦人の主張大会参加    | 翔べわたぼうし達        | 歴史資料館設立準備委員を委嘱 | 第9回北山高等学校園祭    | 今ノ私達の郷土を見つめて | 道路は村民の共有財産   | 大切に使いましょう   |
| 農家所得の向上と     | 農地集団化を目ざして | 第一回天底土地改良通常総会 | 第12回老人・婦人スポーツ大会 | 北山健児ここにあり      | 郷友会大運動会を開催     | 天底が大会三連覇     | 第19回青年駅伝大会   | 納税優良の14字を表彰 |
| 納期内納付に御協力下さい | 今帰仁の碑文展    | 拓本にみる歴史と文化    | 県婦人の主張大会参加      | 翔べわたぼうし達       | 歴史資料館設立準備委員を委嘱 | 第9回北山高等学校園祭  | 今ノ私達の郷土を見つめて | 道路は村民の共有財産  |

今月の主な内容

# 農家所得の向上と 農地集団化をめざして

## 第1回 天底土地改良通常総会



天底土地改良区（理事長・立津政臣。組合員二十九人）は、十月三十日、天底公民館に於て第一回の通常総会を開催しました。総会では、土地改良設立に至るまでの経過の報告をはじめ、規約、会計細則、処務規定等の十一議案を審議、それぞれ原案のような決定をしました。

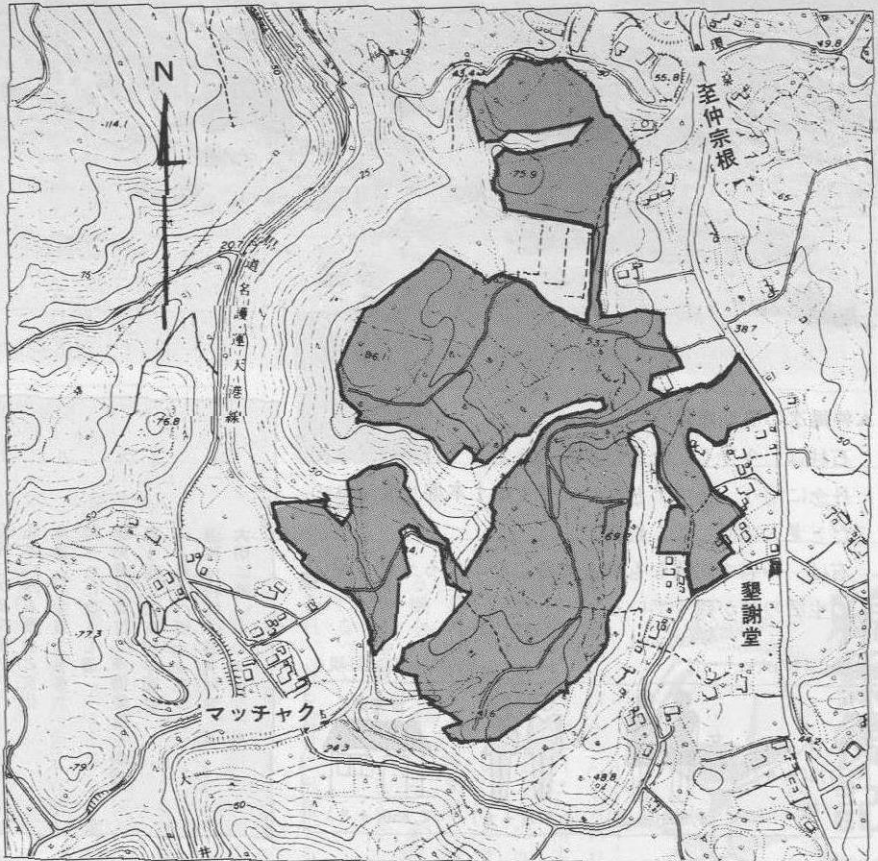
来賓祝辞としてあいさつに立った大城助役は、「天底土地改良の発足おめでとうございます。本改良区は、改良の効果が大きく現らわれるような地形であります。土地改良の完成まで、組合員が一致協力して、立派な圃場にしていただきたいと思います」と激励しました。

本改良区域は、仲宗根から湧川に向う壘謝堂原の南側の高台の一带十七・四ヘクタールを区画整理を計画するものです。

### 天底土地改良区 現在の状況と将来

本地区は、起伏のげしげしい地形で以前はバイン等を主として栽培した所であるが、道路もないため、放置された畑には、ス

### 天底土地改良区(位置図)



スキが茂り、雑木が生え原野となつている現状です。

ここに区画整理十七・四ヘクタール工事十四ヘクタール。農道延長三九一五メートル、排水路延長三二七〇メートル。防災工事等を施行することによつて、営農経費の節減と農地の集団化を図り、農業の安定的な発展と農家所得の向上を目的に進められます。

### 昭和六十年 測量設計に着手

工期は昭和六十年年度と昭和六十五年までの五ヶ年にわたる事業で、総事業費一億七千三百五十六万五千円、財源内訳は、国庫補助金一億三千七十七万三千円、県補助金二千六百九十九万

千円、村補助金八百六十七万八千円、地元負担金千三百一十一万九千円となっております。

今年度は、事業初年度として測量試験費を含む九百九十九万六千円の事業を着手。この完成によつて、来年度から本格的な工事にとりかかることになっていきます。





▲選手宣誓

十月二十七日、午前八時三十分から村営グラウンドで行なわれた大会には、宮里政新村老人クラブ連合会（会員千七百名）上

老人と婦人が、一堂に会し、スポーツを通して、体力の維持と増進を図るとともに、世代間の交流の場をつくり、相互の融

和を深めると共に、明るい豊かな村づくりに寄与することを目的に例年開催されている「第十回・老人婦人スポーツ大会」が開催されました。

が開催されまし

# 第12回老人・婦人スポーツ大会 なごやかに・はつらつと

## 第12回老人・婦人スポーツ大会

地文子村婦人会長（会員六百名）が主催しているものです。

今年も約三千人が参加。観衆と競技者が一体となった応援合戦もにぎやかにそしてなごやかに進められました。

入場行進に続き開会式では、老人クラブ代表の山城要八さんと婦人会代表の城間礼子さんが力強く選手宣誓をして競技が開始されました。

競技種目は、玉入れを初め、ゆうぎ、千変万化、スプーンレース、ゲートボールリレーなど二十一種目に元気よくはつらつとしたプレーを披露しました。

また、学年別リレー、千変万化、後援団体リレー、年令別リレー、ゲートボールリレーもあり、特に観衆の人気を集めた千変万化は、一輪車あり、タイヤ

廻しあり、バインはこびあり次々変わる競技にとまどう選手もあつて、声援と笑いが運動場にあふれ終日にぎわいました。

老人婦人スポーツ大会は、村全体の楽しみの一つとして、村民の間に定着しており、世代を超えた交流の場として、来年も各選手が元気に参加をされるように期待をしたいと思います。



▲年令別リレー大声援

# 土地改良設立の経過

- 58. 4月 天底地区土地改良事業説明会
  - 1 事業費の負担区分について
  - 2 計画における法手続等の推進について
- 4月 第1回土地改良事業推進協議会
  - 1 推進委員の選出について
  - 2 土地改良地区設定
- 8月 昭和58年度新規採択希望地区として県に提出
- 10月 第2回土地改良事業推進協議会
  - 1 地元の盛り上げ及び土地改良事業への理解
  - 2 地区設定（2回目の調整）
  - 3 土地改良事業推進補助金要請について
- 12月 村より推進補助金の交付
- 59. 6月 第3回土地改良推進協議会
  - 1 墓地の移転について
  - 2 地区設定（最終調整）
- 7月 土地改良連合会調査設計開始
- 9月 農地集団化事業（換地設計）開始（9月26日～12月4日まで）
- 10月 墓地移転（一基）
- 60. 3月 土地改良認可申請にともなう、同意書、権利関係のまとめ
- 4月 村有地編入承認申請書提出
- 〃 国有地編入承認申請書提出
- 〃 土地改良認可申請書提出
- 〃 村有地の土地改良事業地区の編入が承認される。
- 60. 7月 国有地財産管理部より下記のとおり承認される。
  - 1 土地改良法第5条6項に基づく国有財産の地区編入
  - 2 天底土地改良区
  - 3 対象物件、建設省所管国有財産
- 9月 認可決定通知
  - 1 土地改良法第10条第1項の規定により認可（設立認可番号沖第187号）
- 9月 第14回土地改良事業推進協議会
  - 1 土地改良区設立に伴う役員の選出
- 9月 土地改良区役員就任届
- 10月30日 第1回通常総会

# 北山健児ここにあり 郷友会大運動会を開催

那覇近郊在住の村出身者で結成された北山郷友会（諸喜田哲夫会長・会員七千名）の「第七回大運動会」が十一月三日浦添市伊奈瀬グラウンド（県中央卸売市場前）で行なわれました。

運動会は、幼少の頃同じ海で泳ぎ、同じ山で遊んだ者が一堂に会し、スポーツを通し旧交を暖め、日頃疎遠にしている人々が語り合い、励し合って親睦を深めるとともに、健康で明るい家庭生活に寄与しようとするものです。

秋晴れの運動場をかこんだ約二千人の観衆と、地元を代表して参加した、村長、議員、区長は一日を楽しく過ごしました。

種目も、親睦大会にふさわしく、幼児、小学校、中学校、20代、30代、40代、50代、60代と分け小学生の「ガニ競争」「けつ圧測定リレー」等の楽しい競技もあり観衆の爆笑をさそいました。

今回の運動会に参加し強く感じたことは、観衆をあきさせない競技進行にあったと思います。次々と出発準備を終えた競技者

できばきと競技箇所へ案内する役員は、秋のさわやかさを感じました。

会員相互の親睦を深めるとともに、古里へ絆を強くし尚一層の発展を期待したいものです。

そして、来年もこの運動会に地元今帰仁からもたくさんの方々に参加していただきたいと思えます。



▶ 地元を代表して松田村長のあいさつ

(写真左が郷友会会長諸喜田哲夫氏)



▶ 大きなのぼりを先頭にして家族づれで一日を楽しく過ごした大運動会

## 県民手帳 申込み受付ます

県政が一目でわかる  
便利でスマートな手帳

沖縄県統計協会では、昭和61年版の県民手帳を発行します。

この手帳は、沖縄県および県内市町村、各都道府県のすがたを数字によって表わし、また日常生活に役立つ最新の資料や知識も収録してあるのが特徴です。

会社、学校等で広く愛用されていますので、御入用の方は早めに申込み下さい。

- ★大判ビニールコード表紙綴り  
込み(85mm×140mm)三〇八ページ 五百円

- ★ポケット版ビニールコード表紙差し込み(67mm×110mm)三〇八ページ 二百六十円

★申込みは、村役場企画財政課統計係(電五六―二二〇一)へどうぞ。

順位と記録

順位	チーム名	記録
1	天底チーム	2時間05分39秒
2	今泊チーム	2時間07分10秒
3	崎・平チーム	2時間15分17秒
4	湧川チーム	2時間18分39秒
5	兼・諸チーム	2時間19分53秒
	北山高校チーム	1時間56分56秒
	今中校(A)チーム	1時間57分33秒
	乙羽クラブ	2時間10分00秒
	今中校(B)チーム	2時間13分04秒

トトルで行なわれました。恒例となった青年駅伝大会は、会員の融和と親睦を図り、あわせて、組織の強化に寄与しようとして、毎年開催されているものと、今年、村内の青年会七千一人とオブザーバーとして参加した北山高校、今帰仁中学校A・

# 天底が大会三連覇 第19回青年駅伝大会

村青年会(大城隆則会長)の主催する「第19回今帰仁村青年駅伝大会」が十一月十日、役場前をスタート地点として湧川折り返し、山岳より運天を廻り本部町具志堅折り返して役場前ゴールの八区間三十一・九キロメートルで行なわれました。

B、乙羽クラブの十一チームが日頃鍛えた健脚を競いました。その結果、一区から終始トップを走り続けた天底青年会チームが二時間五分三九秒が一位、二位は今泊チーム、三位には崎平チームがそれぞれ入賞した。なお、オブザーバーとして参加した北山高校が記録的には一位、二位には今帰仁中学校Aチーム、今中Bチームは六位、乙羽クラブは五位の成績でした。

区間賞

区間	氏名	チーム	記録
1区5,000M	西平 守隆	天底	15分50秒
2区4,300M	上里 光秀	崎・平	16分35秒
3区4,000M	保良 栄作	今泊	14分26秒
4区4,600M	玉城 治男	天底	17分16秒
5区4,000M	新城 悟	今泊	16分56秒
6区3,000M	田港 朝津	天底	12分03秒
7区3,000M	大城 清彦	湧川	11分44秒
8区4,000M	仲松 弥寿一	湧川	15分11秒



小波津次郎氏が

## 法務大臣表彰を授与



▲法務大臣表賞を  
うけた小波津次郎さん

第三八回全国連合戸籍事務協議会総会が十月十六日、十七日、十八日の三日間、東京都千代田

区にある共立女子学園講堂で開催されました。席上、法務大臣表彰が行なわれ、村戸籍住民登録係長の小波津次郎さん(住民課勤務)が、永年にわたり戸籍事務に従事し、その功績が顕著であったとして、全国の八つの法務局ブロック、一六九人とともに法務大臣から表彰状と記念品が授与されました。

### 今帰仁村が 林道協会より表彰

昭和六十年度林道維持管理コンクールにおいて、本村玉城林道が日本林道協会から、十一月十二日、賞状と賞品が授与されました。

尚小波津さんは昭和四四年の沖繩県連合戸籍住民登録事務協議会長表彰を皮切りに今回の法務大臣表彰が四度目の受賞になります。

## 石川総合事務局長

## 古宇利島を視察

沖繩総合事務局の石川雅嗣局長が十月二十日に来村しました。石川氏は、今年七月に総合事務局長に就任、県内の実情巡察のために古宇利島を訪れたものです。

村長を伴って棧橋に降り立った石川氏は、約二百人ほどの住民の歓迎に笑顔で応え、早速、島内の視察に向いました。途中、古宇利漁港建設、古宇利農道建設の執行状況等の説明を聞いた後、環境改善サブセン

ターに用意された歓迎会の席に出席されました。席上、あいさつに立った松田村長は、「総合事務局長の来村が村の発展に大きな刺激になります。離島が故の不便をかこっている古宇利にご理解をいただき架橋にご尽力を下さいますようお願いいたします」と述べました。

さらに、地元を代表して喜納議員は「古宇利大橋架橋に関する要請」の要請文を読み上げ、

「これに応え石川局長は、「総合事務局は、本土との格差を埋めるのが仕事であり、要望が島の方々の切実な要望であると思います。総合事務局の仕事は、あゆみの、のろい亀さんの如くではありませんが、総合事務局に御協力をいただき、一つ／＼進めていきたいと思えます」と述べ架橋の実現に理解を示しました。



昭和59年度村県民税徴収実績

60. 10. 31現在

字 名	調 定 額	納 付 額	未 納 額	納付率
今 泊	2,373,400	2,100,250	273,150	88.5%
兼 次	769,280	7 769,280	0	100
諸 志	1,193,320	1,153,120	40,200	96.6
与 那 嶺	1,330,570	1,330,570	0	100
仲 尾 次	1,444,930	1,422,970	21,960	98.5
崎 山	560,100	560,100	0	100
平 敷	1,020,590	1,000,490	20,100	98.0
越 地	1,588,970	1,559,570	29,400	98.1
謝 名	931,970	924,520	7,450	99.2
仲 宗 根	5,720,910	5,265,310	455,600	92.0
玉 城	1,698,880	1,626,750	72,130	95.8
呉 我 山	1,004,370	942,250	62,120	93.8
湧 川	2,228,790	2,071,380	157,410	92.9
天 底	1,630,000	1,388,700	241,300	85.2
勢 理 客	552,170	531,770	20,400	96.3
渡 喜 仁	833,580	786,160	47,420	94.3
上 運 天	1,870,180	1,870,180	0	100
運 天	1,397,060	1,397,060	0	100
古 宇 利	764,310	587,190	177,120	76.8
小 計	28,913,380	27,287,620	1,625,760	94.4
特 徴 分	89,572,870	89,457,960	114,910	99.9
法 人	35,982,300	35,934,300	48,000	99.9
合 計	154,468,550	152,679,880	1,788,670	98.8

昭和59年度固定資産税徴収実績

60. 10. 31現在

字 名	調 定 額	納 付 額	未 納 額	納付率
今 泊	3,485,590	3,361,510	124,080	96.4%
兼 次	975,520	975,520	0	100
諸 志	1,294,170	1,238,970	55,200	95.7
与 那 嶺	1,624,520	1,624,520	0	100
仲 尾 次	1,015,960	939,840	76,120	92.5
崎 山	1,080,520	1,080,520	0	100
平 敷	1,220,590	1,101,860	118,730	90.3
越 地	1,308,590	1,308,590	0	100
謝 名	2,012,570	1,960,410	52,160	97.4
仲 宗 根	9,898,540	9,242,520	656,020	93.4
玉 城	1,388,030	1,305,020	83,010	94.02
呉 我 山	683,480	679,070	4,410	99.4
湧 川	3,914,730	3,798,120	116,610	97.0
天 底	3,368,390	3,215,400	152,990	95.5
勢 理 客	993,440	988,340	5,100	99.5
渡 喜 仁	1,405,310	1,377,610	27,700	98.0
上 運 天	1,439,800	1,439,800	0	100
運 天	1,971,960	1,971,960	0	100
古 宇 利	1,128,560	1,043,500	85,060	92.5
小 計	40,210,270	38,653,080	1,557,190	96.1
法 人	27,247,100	26,989,280	257,820	99.1
他 町 村	2,849,620	2,123,260	726,360	74.5
他 府 県	419,970	61,250	358,720	14.6
合 計	70,726,960	67,826,870	2,900,090	95.9

昭和59年度軽自動車税徴収実績

60. 10. 31現在

字 名	調 定 額	納 付 額	未 納 額	納付率	順 位
今 泊	211,000	210,000	1,000	99.5%	
兼 次	73,200	73,200	0	100	
諸 志	93,400	93,400	0	100	
与 那 嶺	97,200	97,200	0	100	
仲 尾 次	75,600	75,600	0	100	
崎 山	76,200	76,200	0	100	
平 敷	118,400	118,400	0	100	
越 地	105,400	105,400	0	100	
謝 名	147,000	140,600	6,400	95.7	
仲 宗 根	515,900	503,700	12,200	97.6	
玉 城	124,600	119,600	5,000	96.0	
呉 我 山	98,400	98,400	0	100	
湧 川	316,200	301,000	15,200	95.2	
天 底	229,000	229,000	0	100	
勢 理 客	56,600	56,600	0	100	
渡 喜 仁	88,000	88,000	0	100	
上 運 天	74,800	74,800	0	100	
運 天	81,200	81,200	0	100	
古 宇 利	38,200	38,200	0	100	
合 計	2,620,300	2,580,500	39,800	98.5%	

納税優良の14字を表彰

納期内納付に御協力下さい

昭和五九年度分の納税表彰式が十一月五日午後四時から村コミセンホールで行われました。これは税金の納付に優秀な成績を上げた字を表彰し、あわせて、税に対する認識を深め納税意識の高揚を図るために例年行なわれているものです。

三税の納付率九七・九%

今回の表彰は、村県民税、固定資産税、軽自動車税の三税について、百分の完納のあった兼次、与那嶺、崎山、上運天、運天の五字と納税九五%以上を達成した諸志、仲尾次、越地、謝名、渡喜仁の九字です。表彰式には、各区長、議員、役員関係者など約六十人が出席して行なわれ、松田村長から十四字に対し金一封と表彰状が贈られました。

千七二万六千九百六十円に対し九五・九%、軽自動車税の調定二百六十二万三百円に対し九八・五%で、三税の納付率九七・九二%、調定額は二億二千七百八十一万五千八百十円となっています。

# 今帰仁の碑文展

## 拓本にみる歴史と文化

「古きを訪ねて、新しきを知る」私達は、地域や家庭で自分の先祖、宇の歴史について話題となることがあります。

村民に碑文をとおして、今帰仁あるいは山原地域の歴史や文化を考える機会にしようとして「今帰仁の碑文展」(村教育委員会主催)が十一月三日から四日までの二日間、中央公民館で村内外の碑文の拓本三十五点を展示して行なわれました。

わが村は、山原で碑文の多い地域である。歴史的な碑。文学碑。顕彰碑。慰霊の碑。バル石。石敢当など様々な石碑がある。歴史的な碑に、これまで山原地域で確認されている碑の中で一番古いのが池城墓(一六七〇年)の碑である。

ほかに津屋口墓の碑(一六七八年)・山北今帰仁城監守米歴碑記(一七四九年)・大和墓の碑(一七六八年と一八五五年)などがある。

今帰仁の文学碑では、今帰仁城内の志慶真乙樽の歌碑がよく知られている。今泊のクワテイサーの下の豊年口説抜粋の歌碑や、仲宗根の役場前の西島宗次郎さんの顕彰碑がある。湧川小中学校の校庭には、小林寂鳥先生の句碑がある。

村の大先輩を顕彰した碑に、兼次の鳥袋源一郎先生顕彰碑と勢理客に幸地新蔵先生の顕彰碑がある。

そのほかに、兼次の水道開通記念碑、謝名的美謝池の碑、源為朝公上陸之跡の碑、大北墓の

の碑がある。

また、今時大戦で亡くなった方々の霊を慰めた慰霊の塔があり、蔡温の元文検地(一七三七―一五〇年)の時に用いられたバル石などがある。

身近にありながら、あまり気にとめることなく見過すしてきた碑文が多い。これらの碑文を採掘し一堂に展示することで拓本をとおして、今帰仁の歴史と文化の一端をうかがうことができる。

### 琉歌と今帰仁、講演会

碑文展と併行して、二時半から中央公民館研修室で開催された講演では、講師に黒島直大先生を招聘して「琉歌と今帰仁」

の講演会も行なわれました。

演壇に立った黒島先生は「今日日は、今までに私が見たこと、聞いたこと、経験したこと、集めたものをお話する訳ですが、ひとつお願いしたいことは、今日のお話について、気が付いた事をのちほど付け加えて私に話しをしていただきたいと思います。」

と前置して、今帰仁の歴史、祭祀、暮し、婚姻、情(こころ)恋、文芸等にかかわる琉歌をユ一モアをまじえながら講演し、さらに、今帰仁とかかわりのある優れた琉歌の収集と記録の必要性を訴えて講演をおえました。(以上碑文展資料より)



## 商工会チーム優勝

### 北糖八連覇ならず

第九回村内各団体ソフトボール大会が十一月九日、村営グラウンドで行なわれました。

朝八時半の開会式には、打倒北糖の意気に燃えた糖友社、農協、選管、商工会、教育委員会、農業委員会、北部製糖、区長会、役場課長会、議会の十チームが出場した。

優勝旗を目標に各チームとも

健闘した結果、村商工会が去年まで北糖の七連覇にストップをかけて優勝しました。

商工会は、初戦を教育委員会を二五対五で難なく下し、第二戦の選挙管理委員会を二一対一、三戦目に北部製糖と熱戦の末に九対八で下し決勝戦へと駒を進めました。

一方決勝戦の対戦相手の糖友

社は、初戦の農協を九対七で下し、第二戦の村議会を十五対七でしりぞけて決勝へ勝ち進んだものです。

雨にたたられて、準決勝を十本大会は、一点を争う好ゲームとなり、十対九で商工会チームが初優勝を飾りました。

## 香典返し

字謝名一二五番地の国吉宗定さんより、母マツさんの香典返しとして、村社会福祉協議会に二十万円の寄附がありました。

字今泊三二四一番地上間辰也さんより、父源蔵さんの香典返しとして、村社会福祉協議会に十萬円の寄附がありました。

字仲宗根三三九番地の諸喜田

御芳志ありがとうございます。

峯夫さんより、母カメさんの香典返しとして、村社会福祉協議会と村育英会にそれぞれ十萬円の寄附がありました。







## ― 県婦人の主張大会参加 ―

# 翔べ、わたぼうし達

金城 祐子

てから始めた運動です。

母が訪れた学校の中には、我が家の本棚より淋しい所があったとびつくりしていました。

我家の本棚をカラッポにしたのを手始めに勤務先の大学でも、友人や知人に呼びかけていきま

した。

始めの頃は「こんな本を送っ

そう言われれば一人娘を遠くに嫁がせるのは反対する親も多い様ですが実は、私しに沖繩を教

えてくれ、いろいろ話を聞かせてくれたのは、他ならぬ母でした。又私達の地域でやっている

文庫活動も、きっかけは、母の始めた「沖繩の子供達に本を送ろう」と言う運動からでした。

丁度たんぼの綿ぼうしのように、母の運動が「文庫」という形で根を張り出したのだと思います。

先程述べた「沖繩の子供達に本を送ろう」と言う運動は、二十数年前、念願の沖繩旅行に出かけた母が、沖繩の自然の美しさ、

人情の温かさに感激しながらも、学校の図書室に本が少なかつた事にショックを受けて帰って来

来たのを知っているでしょう。

だから今度は私達が、人にしてあげる番よ」と言うのです。

これを聞いて、私は自分の心の狭さを知りました。

確かに幼い私を連れて、女手一つで生活するのは並大抵の事ではなかったと思います。

でも母は、いつも明るく生き生きしていました。休みの日には、近所の子供を集め本を読んだり、手芸を教えたり、又講演

会にも積極的に参加をし、いつも地域社会の中に自分を置き、学ぶ心を忘れずに居る母でした。

本を読むと云う何気ない事でも、それが、人生に大きな影響を与えようと言う事を知っている母ですから、学校の図書室の本

が少なくと言う事が、ショックだったと思います。

母の「沖繩に本を送る運動」

は、復帰の年まで、四、五年続きました。その間に送った本は

辺地の学校に残っているかも知れません。

さて、本を送らなくなると我家の本棚も、大分にぎやかに

つたのですが、つい「こんな本

を子供達に読ませたい」と選ぶ

くせが取れず、子供向けの本が

たくさん並ぶ様になりました。

そこで、今度始めたのが「家庭文庫」です。日曜日になると

朝早くから、子供達がワイワイガヤガヤと集り、にぎやかに

しました。

この家庭文庫は、私が沖繩に嫁いでもししばらく続いていた

のですが、母も一人暮らしの気楽さから出かける事も多くなり

文庫を閉じる事にし、その本を「今度はお前さんの番だよ」と

全部私の所に送って来たのです。

その頃の私は、慣れない農業や子育てに追われ、気になりながら、とても本までは手が廻らず、一部の本は今婦仁村の図書室に寄贈し、後は箱に入れたまま置いてありました。



# 利用しやすい<sup>やかた</sup>館づくりを

## 歴史資料館設立準備委員を委嘱

### 5人の委員でスタート

村は歴史資料館設立に向けての諸準備と計画を実施するため、5人の委員に委嘱状を交付しました。

委員の皆さんには資料館設立に向けての資料収集（情報）から実施計画の立案準備までのかなりの労働（頭脳）と期日を費してもらい、利用しやすい館づくりを期待したいです。更には資料館づくりの目的や理念、方法、館内部の展示室、作業室、収蔵室などの各室や組織、管理運営までも含めた一連の作業を十分に検討してもらい、その指導と協力を拝借したいと存じます。

### 基本的な視点

資料館や博物館等は得てして見映えのする建物を建設すれば事足りれりとする事例を見受けま

す。村としては、そのような一見豪華主義的な建造物ではなく、最も基本的なこと、例えば場所の問題とか、交通の利便性、建物規模、館の性格（名称も含む）、村民利用の視点、館活動（諸々の教育普及活動）といった様々の条件を調査、熟慮してもらいじっくり検討することを願うものです。

沖縄のある自治体ではこのような重要事項を踏まえないがままに建造したがため、地域の住民によく認識利用されてないという状況を呈しているところもあると聞く。（和歌山のある自治体では館が小さく、購入した展示物が展示できなくなった例もあります。）

近年、各市町村でそれぞれの地域の特性や思考をもって資料館建設の計画進行や既設が為されています。本村の場合、該地に来なければ見られないというある一つの特色を付与

する館づくりを目的にすすめていくものと思料されます。

### 資料館の種類

資料館といっても、分野は幅広いものです。博物館を例えれば、総合博物館、自然史系、歴史考古系、美術系、動植物園、理工系博物館といったように多種に分類されます。これは館の性格により選択されるもので、資料館もそのような類似性を具有しています。

### 御意見や情報の提供を

以上のことを念頭に準備を練り、それを実行していく過程で多くの困難が予想されます。各委員の全面的協力をいただき、村民のための館づくりをお願いしたい。

なお、事務局を村教育委員会社会教育課に置き、村内外からの意見や情報の収集、提供を下さればと思います。また、資料館づくりに関連する諸活動をも展開していく所存です。委員共々に村民の智恵と情報を借用願いたい。

### 「歴史資料館設立準備委員」

委員長 山内 昌藤（村文化財保存調査委員）

副委員長 村上 仁賢（村文化財保存調査委員）

委員 島袋 正敏（名護市立博物館）

委員 仲原 弘哲（村文化財保存調査委員）

委員 諸喜田茂政（村役場企画財政課）

（村教育委員会・社会教育課・文化財担当）  
TEL 098056-2647

# 第9回北山高校学園祭

## 今ノ私達の郷土を

### 見つめて



▶学園祭の開幕を告げるパレード

北山高校(運天政一校長、生徒三百六十人)では、第9回学園祭が十五日のパレードを皮切りに十六日、十七日の両日、同校の校舎、校庭を開放して開催され、たくさんの参観者でにぎわいました。

発表は、展示の部と舞台の部に分かれ、展示の部では、社会問題となっている、老人福祉を考える(一の三)、アフリカの飢餓問題(三の一)等のほか、

「私達の郷土、今帰仁を見つめる(二の三)」で

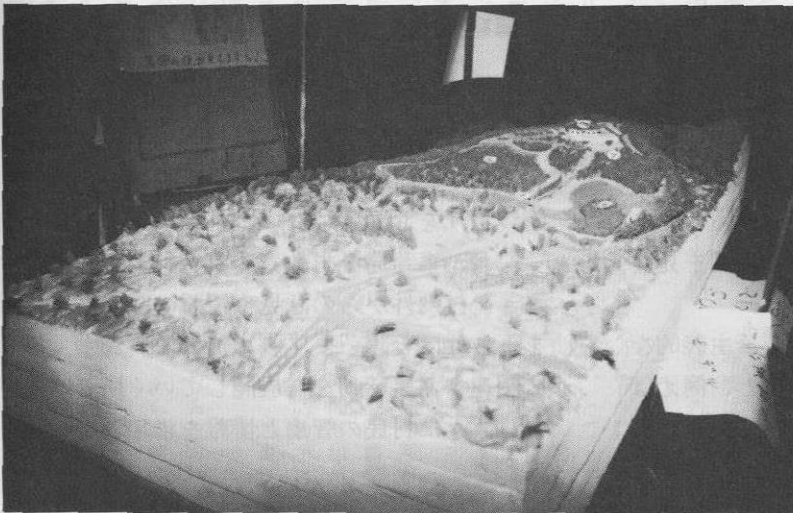
は、村在住のハジチ保有者の調査報告、村内小中高生を対象としたテレビ視聴アンケート調査報告、クラス全員が一ヶ月半もの日数を費した今帰仁城趾ジオラマ(立体小型模型)は城趾の地形図をもとに完成させたもので、一万分の三十六に縮少模型は、参観者の目を奮いました。

又「未来への挑戦(三の三)」では、今帰仁村の将来について

のアンケート調査や、未来都市今帰仁のジオラマも展示され、過去を見つめ、現在に立って将来の今帰仁に夢をかける高校生理想像をかいまみる思いでした。

また、舞台発表のロック演奏では、演奏者と観客が一体となって学園祭に参加していた。

▼若者の夢を託して制作された未来都市今帰仁



▶参観者の注目を集めた城趾ジオラマ



▶色と光と影が作り出す幻想の世界への誘い





# 道路は、村民共有財産 大切に使いましょう

道路は、私達村民の生活に欠すことの出来ない大切な施設であります。

しかし、近年、農業の機械化や住宅の建築等により、道路敷地の侵害や、アスファルト舗装道路にゲタ付シャボやユニボ等を乗り入れ路面を損傷している箇所が多く見受けられます。

こうした行為は、道路法によって固く禁止されています。

もし、違反した場合は罰せられますので絶対に違反しないようにお願いいたします。

道路は、村民みんなのもので、注意し合っ

て、大切に使いたいものです。

## 道路法抜粋

### 道路占用の許可

第三二条 道路に左の各号の一に掲げる工作物、物件又は施設を設け継続して道路を使用しようとする場合においては道路管理者の許可を受けなければならぬ。

一 水管、下水道管、ガス管、その他これらに類する物件

### 道路に関する禁止行為

第四三条 何人も道路に関し、左に掲げる行為をしてはならない。

一 みだりに道路を損傷し、又は汚損をすること。

二 みだりに道路に、土石、竹木等の物件を堆積し、その他道路の構造又は、交通に支障を及ぼすおそれのある行為をすること。

### 罰則

第九九条 みだりに道路を損壊し若しくは、道路の附属物を移転し、若しくは損壊して道路の効用を害した者は、三年以下の懲役又は、五万円以下の罰金に処する。

第一〇〇条 左の一に該当する者は、一年以下の懲役又は、三万円以下の罰金に処する。

第三四三條の規定に違反した者。

# みんなで走ろう

## 新春マラソン大会募集

主催 今帰仁村体育協会

後援 青少年健全育成協議会

期日 昭和61年1月2日

午後一時役場前スタート

種目 小学生(男女三年以上)

一km謝名売店前折返し

五km仲尾次入口折返し

★四十代 三km

★五十代 二km

締切 小学生、中学生、高校生

## 社会教育振興大会

# 参加のおさそい!!

村教育委員会で「つくろう、うるおいとやすらぎのある村」をテーマとして第2回社会教育振興大会を次の要領で開催します。村民多数の参加をお願いします。

### 大会内容

- (1) 社会教育の現況報告
- (2) 分科会
  - ★第一分科会 高令者
  - ★第二分科会 婦人
  - ★第三分科会 子ども会
  - ★第四分科会 青年

全体会 各分科会のまとめ

場 所 村コミュニティセンター、中央公民館

日 時 昭和60年12月14日 13時～16時30分





12月1日  
1月1日

# 村民カレンダー



<b>12</b> 1日		<b>17</b> 火	○ことばの教室(13:00~17:00、コミセン)
<b>2</b> 月		<b>18</b> 水	○心配ごと相談(13:00~17:00、コミセン) ○D.P.T子防接種(13:00~14:00、役場ホール)
<b>3</b> 火	○ことばの教室(9:00~12:00、コミセン)	<b>19</b> 木	
<b>4</b> 水	○心配ごと相談(13:00~17:00、コミセン)	<b>20</b> 金	○区長会(14:00~役場会議室) ○1.6歳健診(13:00~14:00、役場ホール) (対象 59.4.20~59.6.20生れ) ○ことばの教室(9:00~12:00、コミセン)
<b>5</b> 木	○区長会(14:00、役場会議室)	<b>21</b> 土	○健康相談(8:30~11:00、保健婦室)
<b>6</b> 金	○ことばの教室(9:00~12:00、コミセン) ○肉用牛セリ(12:00~家畜市場)	<b>22</b> 日	
<b>7</b> 土	○健康相談(8:30~11:00、保健婦室)	<b>23</b> 月	○年末年始交通安全運動 1月6日まで
<b>8</b> 日	○高齢者ハイキング(13:00~村営グラウンド集合)	<b>24</b> 火	○ディ・ケア(13:00~17:00、役場集合) ○ことばの教室(9:00~12:00、コミセン)
<b>9</b> 月		<b>25</b> 水	○機能訓練(13:00~15:00、コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00、湧川公民館)
<b>10</b> 火	○ことばの教室(9:00~12:00、コミセン) ○子豚セリ(13:00~家畜市場)	<b>26</b> 木	○子豚セリ(13:00~家畜市場)
<b>11</b> 水	○機能訓練(13:00~15:00、コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00、コミセン)	<b>27</b> 金	
<b>12</b> 木		<b>28</b> 土	○御用納め
<b>13</b> 金	○ことばの教室(9:00~12:00、コミセン)	<b>29</b> 日	
<b>14</b> 土	○社会教育振興大会(13:00~公民館ほか)	<b>30</b> 月	
<b>15</b> 日	○一人暮らし老人激励会(14:00~コミセン)	<b>31</b> 火	
<b>16</b> 月	○3歳児健診(13:00~14:00、役場ホール) (対象57年9月・10月生れ)	<b>1/1</b> 水	○元旦

のを思う今日この頃です。

■今月は、スポーツ行事がたくさん行なわれました。その中でも村郷友会の運動会が強く印象に残っています。学校卒業以来の友人に逢ったり、長く不義理をしていた先輩に出合ったり、楽しい一日を過ごしました。皆さんも来年はぜひ参加してみてはいかがでしょうか。

■今月号で掲載をしました、村民コーナー「翔べ、わたぼうし達」は八月四日に行なわれた、婦人の主張中央大会で発表されたものです。紙面の都合で掲載が遅れたことを、おわびします。

## 編集後記



■沖縄には、春と秋が少ない、とよく言われる。最近の朝夕の冷えは、一足飛に冬本番を向えたよう。風邪の季節、健康には充分気を付けたいものです。

■冬は又火災のシーズンでもあります。子供の頃、大鉢をかこんで台所に集まると、父が「霜月、師走には「ビーンヌアメリーヌジキ」だから火の取扱いは充分注意するようにと注意されたのを思う今日この頃です。